

# 2025年11月 戸田市景気動向に関するアンケート調査結果

## 1 目的

市内の景況に関し、現状や見通しなどの調査を行うことで、業種別の市内景気の動向を迅速に把握するほか、取り組むべき経営課題について実態を把握し、今後どのような支援策が必要かどうか、経済施策立案のための基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査期間

2025年11月10日(月)～11月30日(日)

## 3 調査対象

市内事業者1,000社

## 4 調査方法

WEB調査

(対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)

## 5 回答状況

有効回答数 240社  
回答率 24.0%

## 市内中小企業の景況感

市内中小企業の景況感は、前期に比べ改善傾向が見られたが、見通しについては厳しい状況である。原材料・仕入れ価格の上昇は止まったものの、依然として高い状況は続いており、利益を創出しづらい状況となっていることがうかがえる。

## 特別調査

- ・現状の経営課題について
- ・価格転嫁/交渉の状況について
- ・人材確保/定着について
- ・事業承継について

DI(景気動向指數:Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指數で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指數のことである。

＜例＞「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%

$$DI = 50\% - 30\% = 20$$

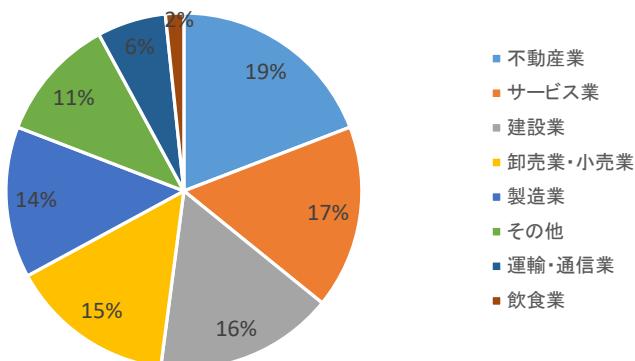
※本調査における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

## 調査の基本項目

### 1 事業所の業種

令和6年度経営状況調査と比べると回答率は上がっているが、前回の景気動向調査と比べると回答率が下がっている。業種分類で見ると、「不動産業」が19%、「サービス業」が17%、「建設業」が16%となっている。以下、「卸売業・小売業」、「製造業」、「その他」、「運輸・通信業」、「飲食業」の順となっている。なお、前回19%を占め、最も回答が多かつた「製造業」は14%の回答となった。

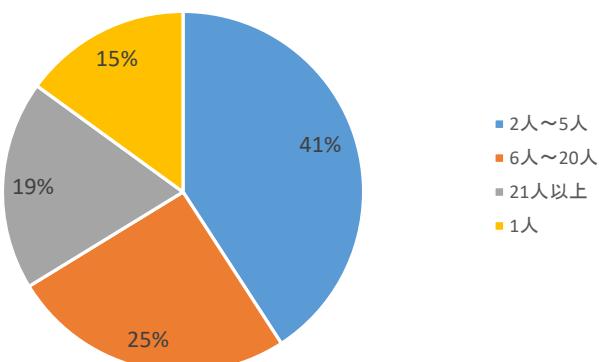
貴社について(業種)



### 2 従業員数

従業員数の分布は、「2人～5人」が41%と最も多く、「6人～20人」が25%、「21人以上」が19%となっている。本調査では小規模事業所の回答が60%以上を占めている。

貴社について(従業員数)



## 1 戸田市内の景況や貴事業所の動向について

### Q1 貴社の動向について、「実績」と「見通し」をお答えください。

戸田市内の景況や貴事業所の動向に関する以下の10項目について、それぞれ該当するものを選択

・実績見込み：令和7年度上期は、令和6年度下期と比べていかがか。

・見通し：令和7年度下期は、現在の実績と比べてどうなると思うか。

(なお、業種によっては回答する必要のない項目があるため、その場合は未記入)

◆10項目：(1)景況感 (2)生産高・売上高 (3)経常利益 (4)雇用人員 (5)労働時間  
(6)製品(商品)価格 (7)原材料・仕入価格 (8)製品(商品)在庫 (9)資金繰り  
(10)設備投資

※上記の質問について、DIを算出し、グラフを作成

### 【全体の概要】

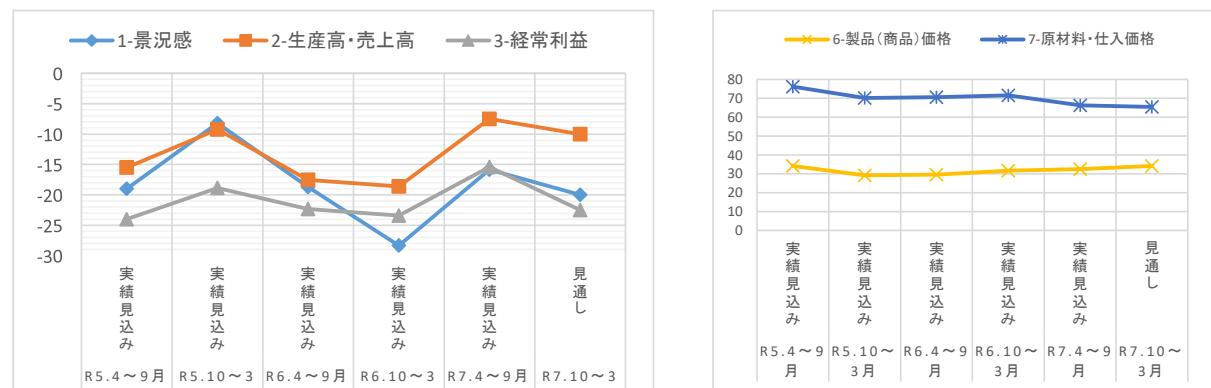
「景況感DI」は-15.83であり、前期から12.51ポイント増加し改善傾向であるが、見通しについては4.17ポイント減少の-20.00と悪化傾向である。

「生産高・売上高DI」は-7.50であり、前期から11.12ポイント増加し上昇傾向であるが、見通しについては2.5ポイント減少の-10.00と下降傾向である。

「経常利益DI」は-15.42であり、前期から7.98ポイント増加し上昇傾向であるが、見通しについては7.08ポイント減少の-22.50と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は32.50であり、前期から0.81ポイント増加し上昇傾向である。また、見通しについても1.67ポイント増加の34.17と上昇傾向である。

「原材料・仕入価格DI」は66.25であり、前期から5.26ポイント減少し下降傾向である。さらに、見通しについても0.83ポイント減少の65.42と下降傾向である。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	R7.10～3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 31.64	▲ 19.00	▲ 8.21	▲ 18.72	▲ 28.34	▲ 15.83	▲ 20.00
2-生産高・売上高	▲ 21.77	▲ 15.50	▲ 9.23	▲ 17.55	▲ 18.62	▲ 7.50	▲ 10.00
3-経常利益	▲ 33.87	▲ 24.00	▲ 18.88	▲ 22.34	▲ 23.40	▲ 15.42	▲ 22.50
4-雇用人員	▲ 28.69	▲ 30.30	▲ 32.65	▲ 27.27	▲ 31.18	▲ 29.17	▲ 30.83
5-労働時間	▲ 5.09	▲ 7.04	▲ 4.08	▲ 7.49	▲ 6.45	▲ 4.58	▲ 4.17
6-製品(商品)価格	28.33	34.18	29.19	29.51	31.69	32.50	34.17
7-原材料・仕入価格	77.90	76.17	70.21	70.56	71.51	66.25	65.42
8-製品(商品)在庫	▲ 2.05	1.59	▲ 10.75	▲ 6.15	▲ 10.11	1.25	0.83
9-資金繰り	▲ 24.59	▲ 11.56	▲ 7.14	▲ 16.49	▲ 18.18	▲ 4.17	▲ 7.50
10-設備投資	▲ 6.52	0.51	4.12	2.69	▲ 1.08	5.00	5.00

## 業種別の動向について

### 〔建設業の概要〕

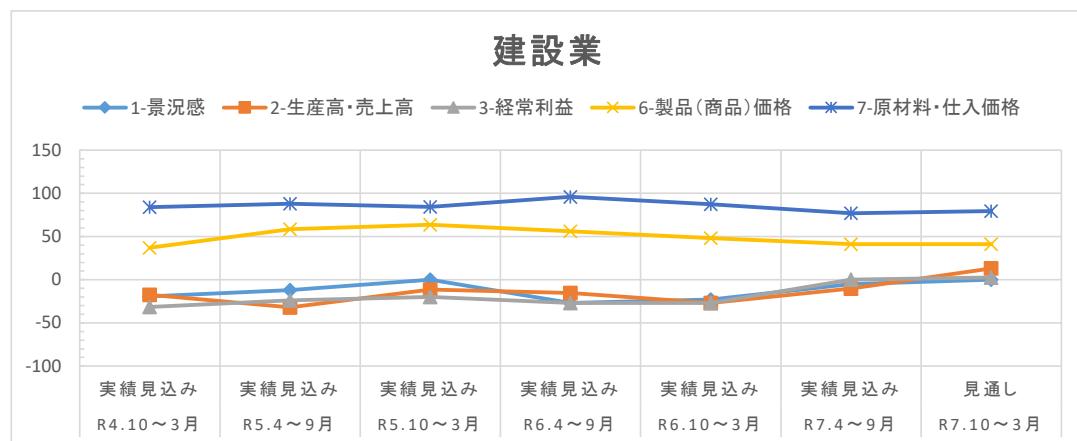
「景況感DI」は-5.13であり、前期から17.95ポイント増加し、改善傾向である。さらに見通しについても、5.13ポイント増加の0.00と改善傾向である。

「生産高・売上高DI」は-10.26であり、前期から16.66ポイント増加し、上昇傾向である。さらに見通しについても、23.3ポイント増加の13.04と上昇傾向である。

「経常利益DI」は0.00であり、前期から26.92ポイント増加し、上昇傾向である。さらに見通しについても、2.56ポイント増加の2.56と上昇傾向である。

「製品(商品)価格DI」は41.03であり、前期から6.97ポイント減少し、下降傾向である。なお、見通しについては横ばい傾向である。

「原材料・仕入価格DI」は76.92であり、前期から10.58ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては2.57ポイント増加の79.49と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	R7.10～3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 19.30	▲ 12.00	0.00	▲ 26.92	▲ 23.08	▲ 5.13	0.00
2-生産高・売上高	▲ 17.54	▲ 32.00	▲ 11.43	▲ 15.38	▲ 26.92	▲ 10.26	13.04
3-経常利益	▲ 31.58	▲ 24.00	▲ 20.00	▲ 26.92	▲ 26.92	0.00	2.56
4-雇用人員	▲ 50.88	▲ 64.00	▲ 54.29	▲ 53.85	▲ 50.00	▲ 43.59	▲ 46.15
5-労働時間	1.75	▲ 4.00	11.43	▲ 15.38	▲ 19.23	▲ 2.56	▲ 2.56
6-製品(商品)価格	37.04	58.33	63.64	56.00	48.00	41.03	41.03
7-原材料・仕入価格	83.93	88.00	84.38	96.00	87.50	76.92	79.49
8-製品(商品)在庫	▲ 7.84	▲ 8.70	▲ 9.68	▲ 16.00	▲ 16.00	0.00	▲ 2.56
9-資金繰り	▲ 26.32	▲ 12.00	▲ 5.71	▲ 19.23	▲ 34.62	▲ 2.56	0.00
10-設備投資	▲ 12.50	▲ 12.00	▲ 5.71	▲ 7.69	▲ 15.38	▲ 7.69	0.00

## 〔製造業の概要〕

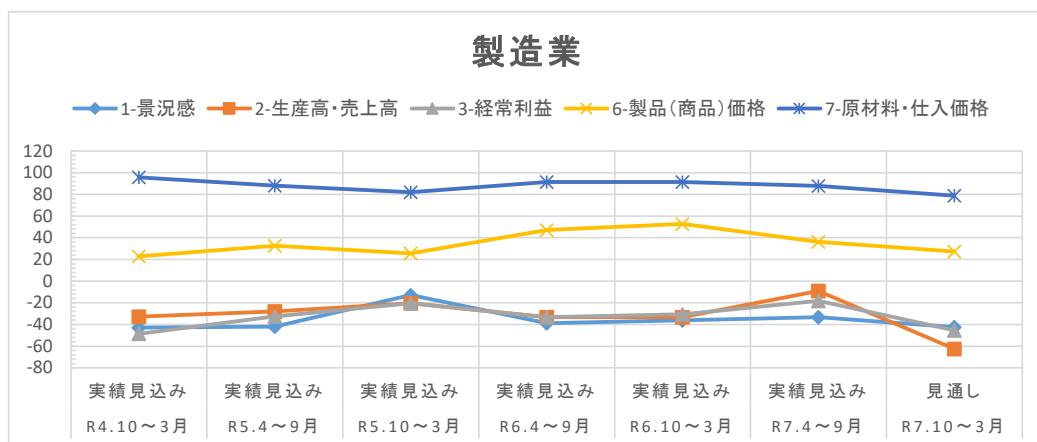
「景況感DI」は-33.33であり、前期から2.78ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては9.09ポイント減少の-42.42と悪化傾向である。

「生産高・売上高DI」は-9.09であり、前期から24.24ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては53.41ポイント減少の-62.50と下降傾向である。

「経常利益DI」は-18.18であり、前期から12.38ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては27.27ポイント減少の-45.45と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は36.36であり、前期から16.42ポイント減少し、下降傾向であり、見通しについても9.09ポイント減少の27.27と下降傾向である。

「原材料・仕入価格DI」は87.88であり、前期から3.55ポイント減少し、下降傾向である。さらに見通しについても、9.09ポイント減少の78.79と下降傾向である。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	R7.10～3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 42.86	▲ 41.86	▲ 12.82	▲ 38.89	▲ 36.11	▲ 33.33	▲ 42.42
2-生産高・売上高	▲ 32.86	▲ 27.91	▲ 20.51	▲ 33.33	▲ 33.33	▲ 9.09	▲ 62.50
3-経常利益	▲ 48.57	▲ 32.56	▲ 20.51	▲ 33.33	▲ 30.56	▲ 18.18	▲ 45.45
4-雇用人員	▲ 25.71	▲ 20.93	▲ 43.59	▲ 27.78	▲ 41.67	▲ 45.45	▲ 51.52
5-労働時間	▲ 17.14	▲ 28.57	▲ 12.82	▲ 8.33	▲ 5.56	▲ 24.24	▲ 6.06
6-製品(商品)価格	22.86	32.56	25.64	47.22	52.78	36.36	27.27
7-原材料・仕入価格	95.71	88.10	82.05	91.43	91.43	87.88	78.79
8-製品(商品)在庫	▲ 7.25	▲ 4.76	▲ 23.68	▲ 14.29	▲ 17.14	6.06	3.03
9-資金繰り	▲ 33.82	▲ 11.63	▲ 5.13	▲ 13.89	▲ 19.44	▲ 6.06	▲ 15.15
10-設備投資	▲ 2.86	▲ 11.63	▲ 7.69	▲ 11.11	▲ 11.11	▲ 3.03	▲ 3.03

## 〔卸売業・小売業の概要〕

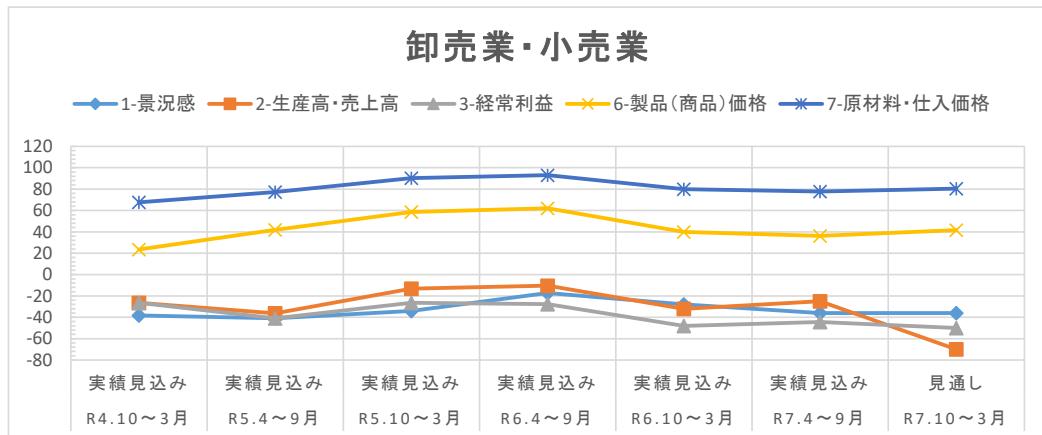
「景況感DI」は-36.11であり、前期から8.11ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについては横ばいである。

「生産高・売上高DI」は-25.00であり、前期から7.00ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては45.00ポイント減少の-70.00と下降傾向である。

「経常利益DI」は-44.44であり、前期から3.56ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては5.56ポイント減少の-50.00と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は36.11であり、前期から3.89ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては5.56ポイント増加の41.67と上昇傾向である。

「原材料・仕入価格DI」は77.78であり、前期から2.22ポイント減少し、下降傾向である。見通しについては、2.78ポイント増加の80.56と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	R7.10～3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 38.24	▲ 40.91	▲ 33.96	▲ 17.24	▲ 28.00	▲ 36.11	▲ 36.11
2-生産高・売上高	▲ 26.47	▲ 36.36	▲ 13.21	▲ 10.34	▲ 32.00	▲ 25.00	▲ 70.00
3-経常利益	▲ 26.47	▲ 40.91	▲ 26.42	▲ 27.59	▲ 48.00	▲ 44.44	▲ 50.00
4-雇用人員	▲ 14.71	▲ 20.45	▲ 15.09	▲ 20.69	▲ 28.00	▲ 30.56	▲ 30.56
5-労働時間	▲ 5.88	▲ 4.55	▲ 7.55	0.00	▲ 20.00	▲ 2.78	▲ 8.33
6-製品(商品)価格	23.53	41.86	58.49	62.07	40.00	36.11	41.67
7-原材料・仕入価格	67.65	77.27	90.38	93.10	80.00	77.78	80.56
8-製品(商品)在庫	17.65	2.27	5.66	17.24	▲ 8.00	0.00	8.33
9-資金繰り	▲ 20.59	▲ 27.27	▲ 24.53	▲ 24.14	▲ 8.00	▲ 11.11	▲ 19.44
10-設備投資	8.82	2.27	0.00	13.79	▲ 4.00	▲ 5.56	▲ 11.11

## 〔飲食業の概要〕

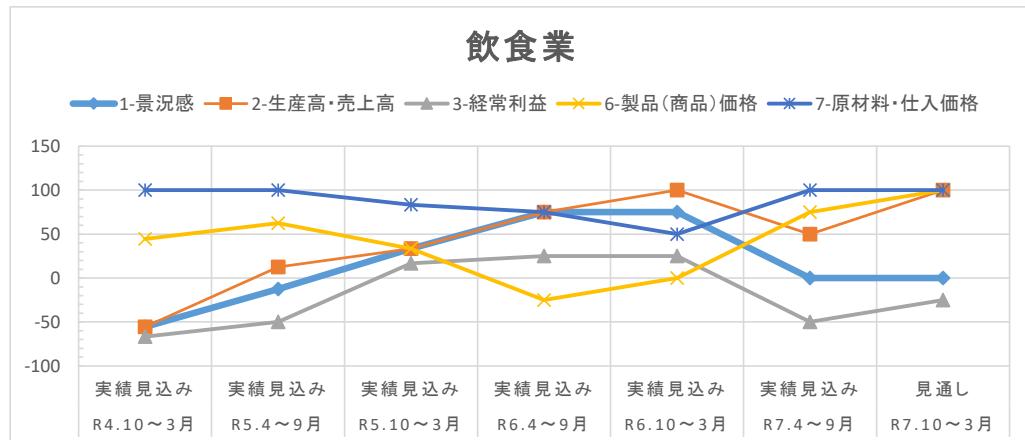
「景況感DI」は0.00であり、前期から75.00ポイント減少し、悪化傾向であり、見通しについては横ばいである。

「生産高・売上高DI」は50.00であり、前期から50.00ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては50.00ポイント増加の100.00と上昇傾向である。

「経常利益DI」は-50.00であり、前期から75.00ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては25.00ポイント増加の-25.00と上昇傾向である。

「製品(商品)価格DI」は75.00であり、前期から75.00ポイント増加し、上昇傾向である。さらに、見通しについても25.00ポイント増加の100.00と上昇傾向である。

「原材料・仕入価格DI」は100.00であり、前期から50.00ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては横ばいである。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	見通し
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	
1-景況感	▲ 55.56	▲ 12.50	33.33	75.00	75.00	0.00	0.00
2-生産高・売上高	▲ 55.56	12.50	33.33	75.00	100.00	50.00	100.00
3-経常利益	▲ 66.67	▲ 50.00	16.67	25.00	25.00	▲ 50.00	▲ 25.00
4-雇用人員	▲ 66.67	▲ 50.00	▲ 16.67	▲ 50.00	▲ 50.00	0.00	▲ 25.00
5-労働時間	▲ 44.44	0.00	0.00	25.00	25.00	0.00	▲ 25.00
6-製品(商品)価格	44.44	62.50	33.33	▲ 25.00	0.00	75.00	100.00
7-原材料・仕入価格	100.00	100.00	83.33	75.00	50.00	100.00	100.00
8-製品(商品)在庫	▲ 11.11	▲ 12.50	▲ 16.67	0.00	0.00	0.00	0.00
9-資金繰り	▲ 33.33	▲ 12.50	33.33	▲ 25.00	0.00	25.00	25.00
10-設備投資	▲ 33.33	▲ 12.50	16.67	75.00	75.00	0.00	0.00

## 〔不動産業の概要〕

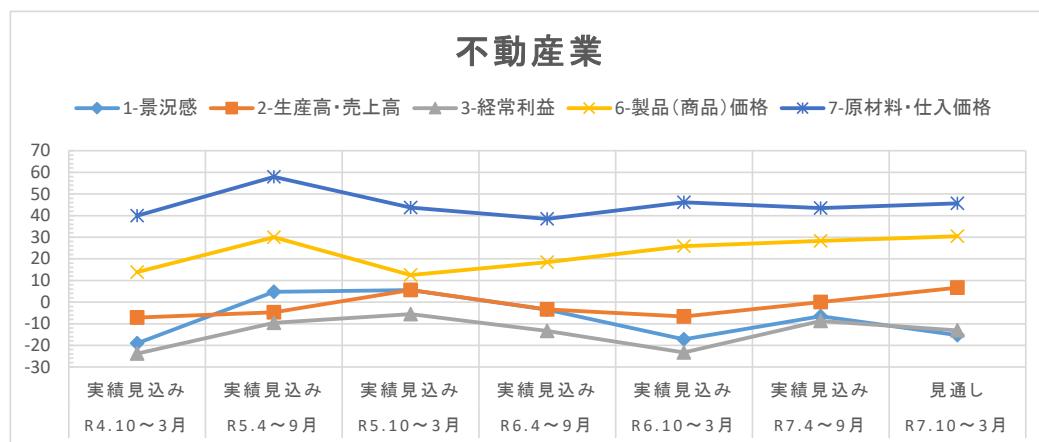
「景況感DI」は-6.52であり、前期から10.72ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては8.7ポイント減少の15.22と悪化傾向である。

「生産高・売上高DI」は0.00であり、前期から6.67ポイント増加し、上昇傾向である。さらに見通しについては、6.67ポイント増加の6.67と上昇傾向である。

「経常利益DI」は-8.70であり、前期から14.63ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては4.34ポイント減少の-13.04と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は28.26であり、前期から2.33ポイント増加し、上昇傾向である。さらに、見通しについても2.17ポイント増加の30.43と上昇傾向である。

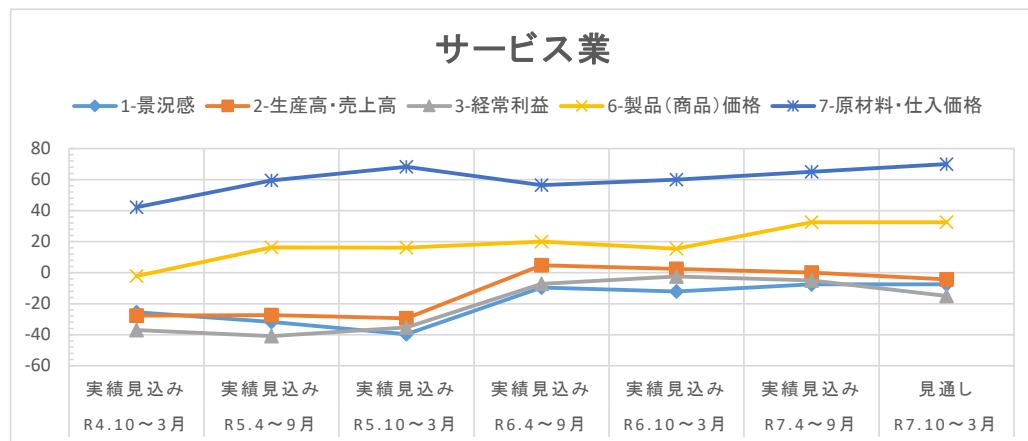
「原材料・仕入価格DI」は43.48であり、前期から2.67ポイント減少し、下降傾向であるが、見通しについては2.17ポイント増加の45.65と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	R7.10～3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 19.05	4.76	5.56	▲ 3.45	▲ 17.24	▲ 6.52	▲ 15.22
2-生産高・売上高	▲ 7.14	▲ 4.76	5.56	▲ 3.33	▲ 6.67	0.00	6.67
3-経常利益	▲ 23.81	▲ 9.52	5.56	▲ 13.33	▲ 23.33	▲ 8.70	▲ 13.04
4-雇用人員	▲ 7.14	▲ 10.00	▲ 16.67	▲ 3.45	0.00	▲ 2.17	▲ 6.52
5-労働時間	4.76	9.52	5.56	6.90	10.34	0.00	0.00
6-製品(商品)価格	13.89	30.00	12.50	18.52	25.93	28.26	30.43
7-原材料・仕入価格	40.00	57.89	43.75	38.46	46.15	43.48	45.65
8-製品(商品)在庫	▲ 2.94	10.53	0.00	4.00	0.00	6.52	4.35
9-資金繰り	▲ 9.52	▲ 4.76	0.00	0.00	▲ 10.34	▲ 2.17	▲ 4.35
10-設備投資	▲ 17.50	0.00	17.65	16.67	20.00	8.70	13.04

## 〔サービス業の概要〕

「景況感DI」は-7.50であり、前期から4.70ポイント増加し、改善傾向であり、見通しについては横ばい傾向である。  
 「生産高・売上高DI」は0.00であり、前期から2.44ポイント減少し、下降傾向である。さらに見通しについても、4.35ポイント減少の-4.35と下降傾向である。  
 「経常利益DI」は-5.00であり、前期から2.56ポイント減少し、下降傾向である。さらに見通しについても、10.0ポイント減少の-15.00と下降傾向である。  
 「製品(商品)価格DI」は32.50であり、前期から17.12ポイント増加し、上昇傾向であり、見通しについては横ばい傾向である。  
 「原材料・仕入価格DI」は65.00であり、前期から5.00ポイント増加し、上昇傾向である。さらに見通しについても、5.00ポイント増加の70.00と上昇傾向である。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	R7.10～3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 25.53	▲ 31.82	▲ 39.71	▲ 9.52	▲ 12.20	▲ 7.50	▲ 7.50
2-生産高・売上高	▲ 27.66	▲ 27.27	▲ 29.41	4.76	2.44	0.00	▲ 4.35
3-経常利益	▲ 36.96	▲ 40.91	▲ 35.29	▲ 7.14	▲ 2.44	▲ 5.00	▲ 15.00
4-雇用人員	▲ 26.09	▲ 18.18	▲ 20.59	▲ 31.71	▲ 14.63	▲ 27.50	▲ 27.50
5-労働時間	▲ 8.51	▲ 9.09	▲ 1.47	2.38	▲ 9.76	0.00	▲ 2.50
6-製品(商品)価格	▲ 2.17	16.28	16.13	20.00	15.38	32.50	32.50
7-原材料・仕入価格	42.22	59.52	68.25	56.41	60.00	65.00	70.00
8-製品(商品)在庫	▲ 7.14	▲ 2.50	▲ 1.59	0.00	▲ 7.50	7.50	5.00
9-資金繰り	▲ 21.28	▲ 29.55	▲ 22.06	▲ 7.14	▲ 17.07	0.00	▲ 2.50
10-設備投資	0.00	▲ 11.90	▲ 8.96	9.76	19.51	7.50	12.50

## 〔運輸・通信業の概要〕

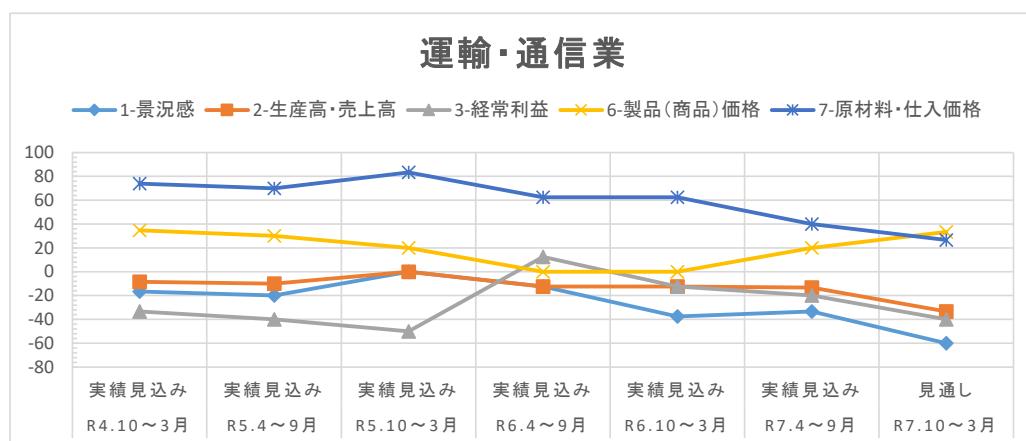
「景況感DI」は-33.33であり、前期から4.17ポイント減少し、悪化傾向である。さらに見通しについても、26.67ポイント減少の-60.00と悪化傾向である。

「生産高・売上高DI」は-13.33であり、前期から0.83ポイント減少し、下降傾向である。さらに見通しについても、20.00ポイント減少の-33.33と下降傾向である。

「経常利益DI」は-20.00であり、前期から7.5ポイント減少し、下降傾向である。さらに見通しについても、20.00ポイント減少の-40.00と下降傾向である。

「製品(商品)価格DI」は20.00であり、前期から20.00ポイント増加し、上昇傾向である。さらに見通しについても、13.33ポイント増加の33.33と上昇傾向である。

「原材料・仕入価格DI」は40.00であり、前期から22.50ポイント減少し、下降傾向である。さらに見通しについても、13.33ポイント減少の26.67と下降傾向である。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	R7.10～3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 16.67	▲ 20.00	0.00	▲ 12.50	▲ 37.50	▲ 33.33	▲ 60.00
2-生産高・売上高	▲ 8.33	▲ 10.00	0.00	▲ 12.50	▲ 12.50	▲ 13.33	▲ 33.33
3-経常利益	▲ 33.33	▲ 40.00	▲ 50.00	12.50	▲ 12.50	▲ 20.00	▲ 40.00
4-雇用人員	▲ 54.17	▲ 50.00	▲ 83.33	▲ 87.50	▲ 87.50	▲ 46.67	▲ 40.00
5-労働時間	4.17	▲ 30.00	0.00	▲ 25.00	▲ 25.00	▲ 13.33	▲ 13.33
6-製品(商品)価格	34.78	30.00	20.00	0.00	0.00	20.00	33.33
7-原材料・仕入価格	73.91	70.00	83.33	62.50	62.50	40.00	26.67
8-製品(商品)在庫	0.00	0.00	▲ 16.67	0.00	0.00	▲ 20.00	▲ 20.00
9-資金繰り	▲ 16.67	0.00	0.00	▲ 12.50	▲ 12.50	▲ 6.67	▲ 6.67
10-設備投資	8.33	0.00	16.67	12.50	0.00	26.67	26.67

## 【その他の非製造業の概要】

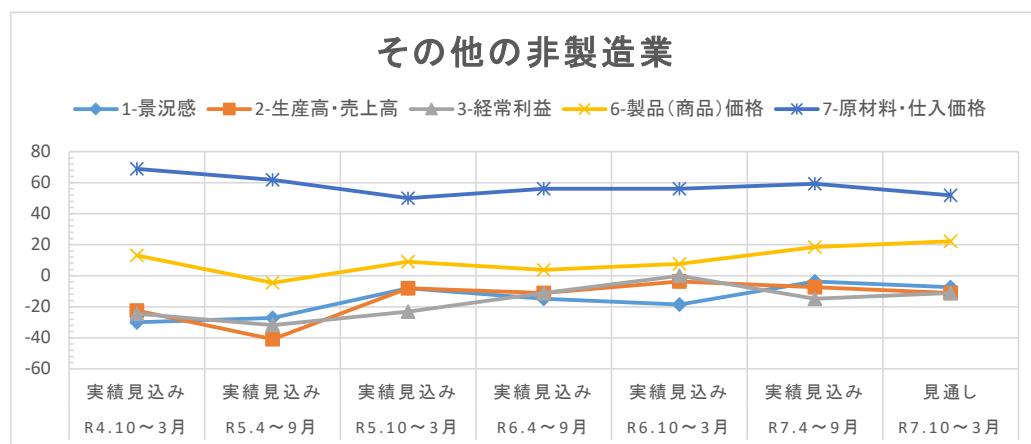
「景況感DI」は-3.70であり、前期から14.82ポイント増加し、改善傾向であるが、見通しについては、3.71ポイント減少の-7.41と悪化傾向である。

「生産高・売上高DI」は-7.41であり、前期から3.71ポイント減少し、下降傾向である。さらに見通しについても、3.7ポイント減少の-11.11と下降傾向である。

「経常利益DI」は-14.81であり、前期から14.81ポイント減少し、下降傾向である。見通しについては、3.7ポイント増加の-11.11と上昇傾向である。

「製品(商品)価格DI」は18.52であり、前期から10.83ポイント増加し、上昇傾向である。さらに見通しについても、3.7ポイント増加の22.22と上昇傾向である。

「原材料・仕入価格DI」は59.26であり、前期から3.26ポイント増加し、上昇傾向であるが、見通しについては、7.41ポイント減少の51.85と下降傾向である。



質問項目(DI)	R4.10～3月	R5.4～9月	R5.10～3月	R6.4～9月	R6.10～3月	R7.4～9月	R7.10～3月
	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	実績見込み	見通し
1-景況感	▲ 30.00	▲ 27.27	▲ 8.00	▲ 14.81	▲ 18.52	▲ 3.70	▲ 7.41
2-生産高・売上高	▲ 22.45	▲ 40.91	▲ 8.00	▲ 11.11	▲ 3.70	▲ 7.41	▲ 11.11
3-経常利益	▲ 24.49	▲ 31.82	▲ 23.08	▲ 11.11	0.00	▲ 14.81	▲ 11.11
4-雇用人員	▲ 32.00	▲ 22.73	▲ 23.08	▲ 29.63	▲ 25.93	▲ 29.63	▲ 25.93
5-労働時間	▲ 4.00	▲ 4.55	3.85	▲ 3.70	▲ 3.70	3.70	0.00
6-製品(商品)価格	13.04	▲ 4.55	9.09	3.85	7.69	18.52	22.22
7-原材料・仕入価格	68.89	61.90	50.00	56.00	56.00	59.26	51.85
8-製品(商品)在庫	4.88	5.00	▲ 4.17	▲ 4.00	▲ 4.17	▲ 7.41	▲ 7.41
9-資金繰り	▲ 28.57	▲ 14.29	▲ 11.54	▲ 25.93	▲ 14.81	▲ 7.41	▲ 11.11
10-設備投資	▲ 2.04	9.52	4.00	4.00	4.17	25.93	7.41

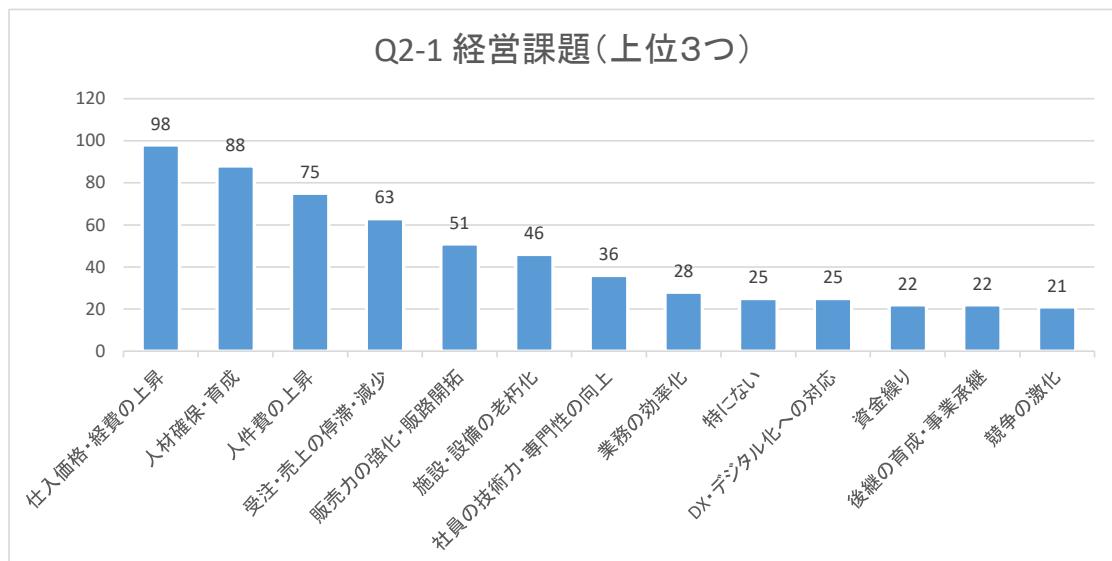
## 2. 貴社の経営課題についてお答えください。

### Q2-1 貴社の経営課題について、当てはまるものを上位3つまで選択してください。

経営課題として最も多く挙げられたのは「仕入価格・経費の上昇」であり、次いで「人材確保・育成」という結果となった。前回調査時も、「人材の強化」が多く挙げられていたことから、企業の多くが、人材を定着させることに対して課題観を持っていることが分かる。その他、「人件費の上昇」「受注・売上の停滞・減少」「販売力の強化・販路開拓」と続いている。

「その他」としては以下の意見が寄せられた。

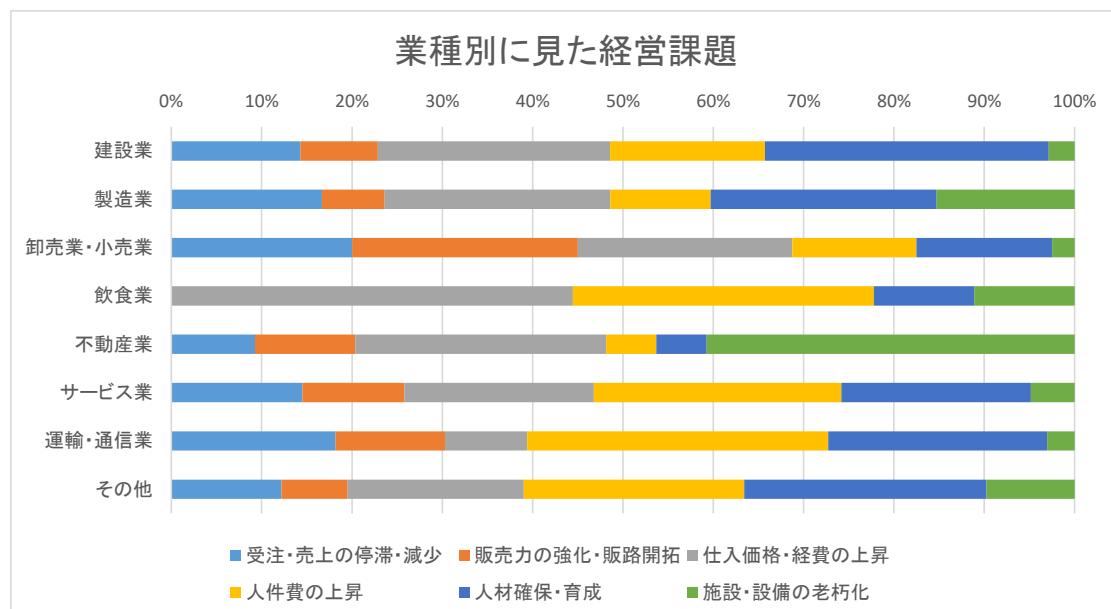
固都税の上昇/民間だけではなく各市町村の予算もないことで仕事が激減している/取引先との交渉がこちらの希望通りではない/事業承継/戸田市の工場街からの住宅街化 など



## 業種別にみる経営課題について

業種別に集計してみると以下の特徴が見られた。

- ・事業者全体の傾向と大きく異なる点が見られたのは、飲食業/不動産業/運輸・通信業 だった。飲食業については「仕入価格・経費の上昇」が最も多く、40%以上を占めており、「受注・売上の停滞・減少」や「販売力の強化・販路開拓」については挙げられていなかった。不動産業については「施設・設備の老朽化」が最も多く、40%以上を占めており、「人材確保・育成」や「人件費の上昇」についてはあまり挙げられていなかった。
- ・飲食業/不動産業/運輸・通信業以外の業種については、事業者全体の傾向とほぼ同様であり、「仕入価格・経費の上昇」および「人材確保・育成」の2つが同程度の割合を占めていた。

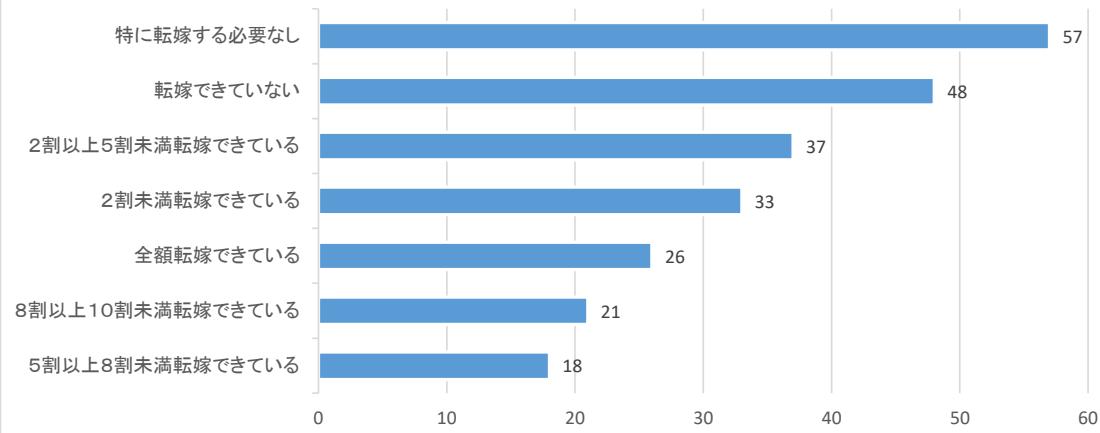


### 3. 貴社の価格転嫁・交渉の状況についてお答えください。

#### Q3-1 貴社の原材料・仕入価格高騰分に対する価格転嫁の状況について、該当するものを選択してください。(単一回答)

- ・最も多く挙げられたのは「特に転嫁する必要なし」であったが、次いで多かった回答は「転嫁できていない」であった。原材料・仕入価格高騰に対し、価格転嫁をする必要がない企業が多い一方、価格転嫁を行いたいができないという企業が多く存在することがわかった。
- ・価格転嫁ができる企業においても、「2割以上5割未満価格転嫁ができる」という企業や、「2割未満価格転嫁ができる」という企業が多く、全額価格転嫁をするということは難しい状況にあることが推測される。

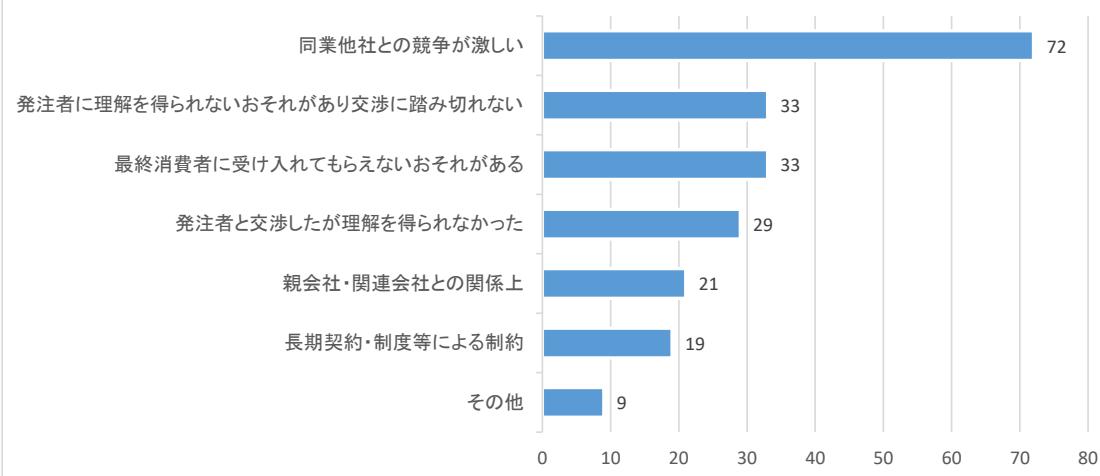
#### Q3-1 原材料・仕入価格高騰分に対する価格転嫁の状況



#### Q3-2 価格転嫁が難しい(できない)理由について、該当するものを選択してください。(複数回答可)

- ・最も多く挙げられたのは「同業他社との競争が激しい」であり、全体の3割以上を占めていた。次いで多かったのは、「発注者に理解を得られないおそれがあり交渉に踏み切れない」、「最終消費者に受け入れてもらえないおそれがある」であった。
- ・「その他」としては以下の意見が寄せられた。  
診療報酬(調剤報酬)が変わらないため/見積後の材料費の上昇分は転嫁が難しいため/安い製品であれば何でもいいと考える方が増えたため/サービス料金が統制価格のため/価格転嫁により相見積をされ、他社へ依頼されてしまうことで、仕事自体が無くなる可能性があるため/値上げに対して、通達をしてから実際の値上げに至るまで少し時間を空けるようにしており、多少自社で被ることになるため/国内生産高の減少が5年も続いて、需要減少と供給過多で価格転嫁の要望は転注の要因につながる恐れがあり、申し入れしづらいため など

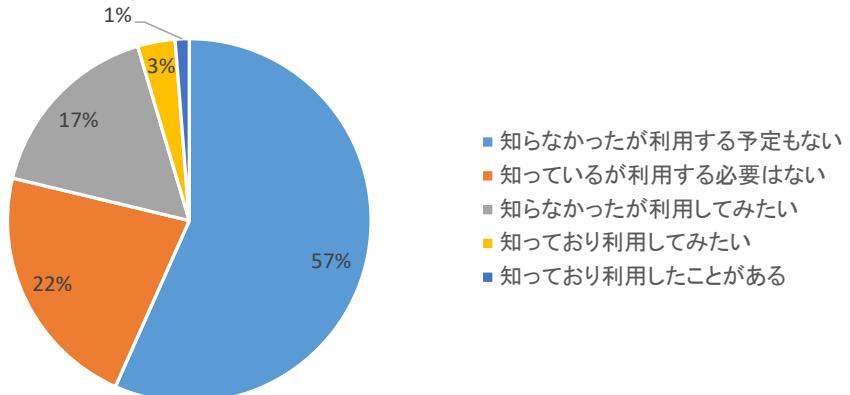
#### Q3-2 価格転嫁が難しい(できない)理由



Q3-3 埼玉県が実施している価格転嫁の円滑化に向けた取組を知っていますか。(単一回答)

- 「利用する予定がない」と回答しているのが、全体の79%を占めている。
- 価格転嫁の状況について、「全額価格転嫁できている」および「特に価格転嫁する必要なし」と回答しているのが全体の35%だったことを踏まえると、価格転嫁できていない部分はあるものの、県の取組を実施することを検討していない企業が多いことがわかる。

Q3-3 埼玉県が実施している  
価格転嫁の円滑化に向けた取組について

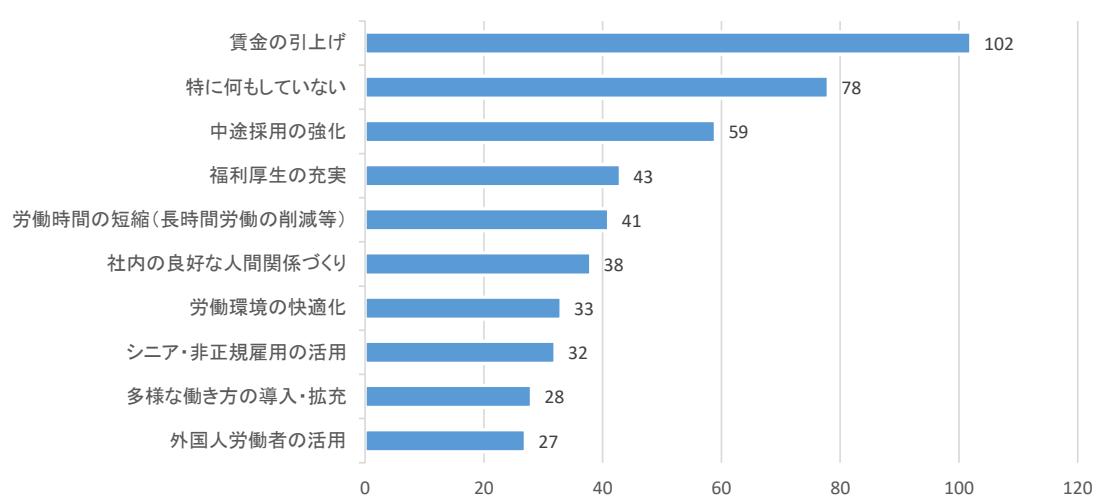


4. 貴社の人才確保・定着の状況についてお答えください。

Q4-1 人材確保・定着のため、直近3年間で取り組んだものを選択してください。(複数選択可)

- 最も多く挙げられたのは、「賃金の引上げ」であった。次いで「特に何もしていない」が多く挙げられており、全体の13%を占めている。
- 企業が抱える経営課題として「人材確保・育成」が多く上がっている一方、人材確保・定着のために「特に何もしていない」の回答が多いことから、課題観はあるものの何も取り組めていない企業が多いことがわかる。また、人材を確保するために賃金の引上げを行っているが、その結果経費(人件費)の上昇が経営課題となってしまっている企業が多いことがわかる。

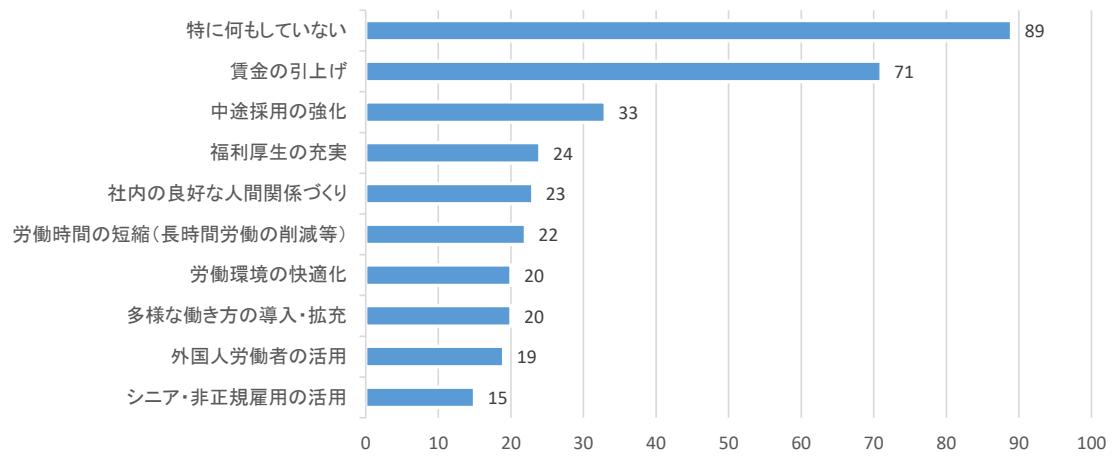
Q4-1 人材確保・定着のため、直近3年間で取り組んだもの



**Q4-2 4-1で選択した取組のうち採用・定着に効果的であったものを上位3つまで選択してください。**

- ・取組みを実施している事業者のうち、最も多く挙げられたのは、「賃金の引上げ」で、次いで「中途採用の強化」だった。経費(人件費)の上昇は企業の課題となっている一方、「賃金の引き上げ」が人材採用・定着において効果的な取組であることがわかる。
- ・「新卒採用の強化」が挙げられない一方、「中途採用の強化」の回答は多く挙げられている。

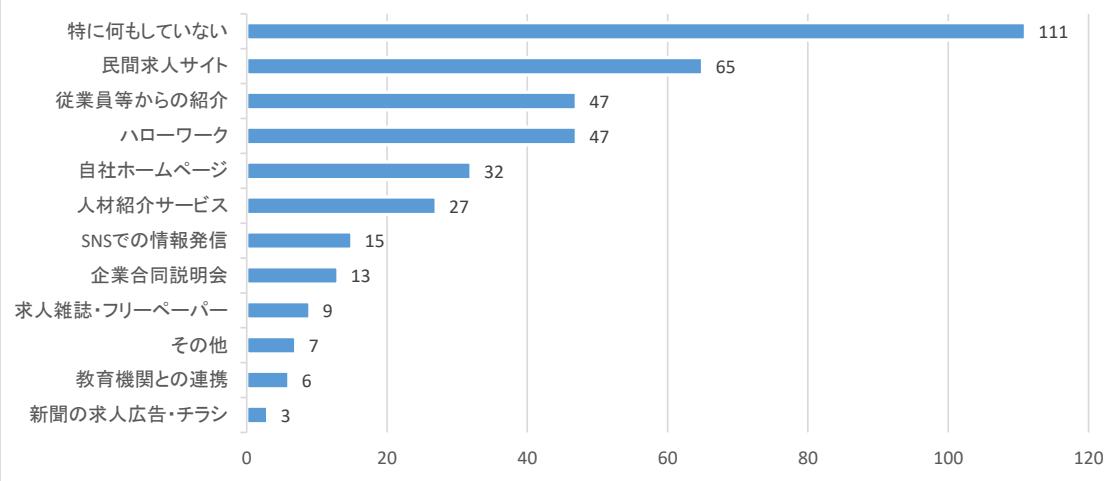
**Q4-2 Q4-1で選択した取組のうち  
採用・定着に効果的であったもの**



**Q4-3 現在どのような手段を用いて求人を行っていますか。(複数選択可)**

- ・「特に何もしていない」が最も多く、全体の29%を占めている。
- ・次いで多かったのは「民間求人サイト」であった。
- ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。  
これからホームページを作って、そこで募集する/求人はしていない/産業雇用安定センター/経営団体への所属による、中小企業の強み強化を前面に出した採用活動/知り合いや関係者への直接勧誘/外国人技能実習生、特定技能生を監理団体に依頼している など

**Q4-3 現在用いている求人手段**

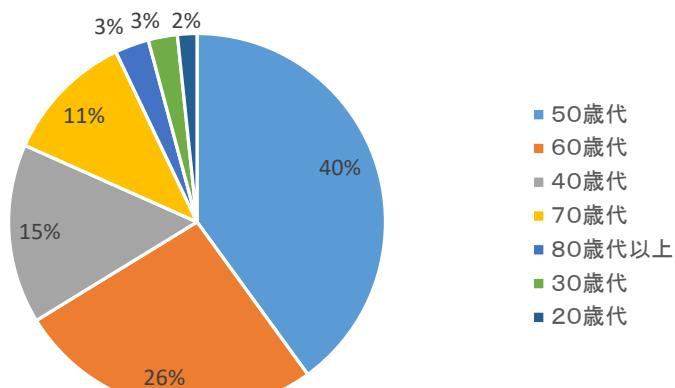


## 5. 貴社の事業承継についてお答えください。

### Q5-1 貴社の経営者(社長もしくは代表者)の年齢を選択してください。(単一回答)

- 最も多く挙げられたのは「50歳代」であった。
- 次いで多かったのは「60歳代」、「40歳代」であった。

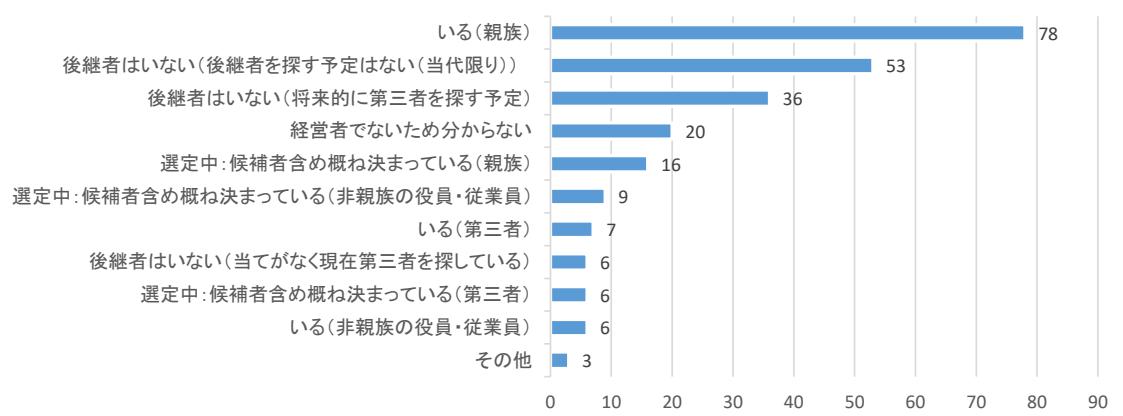
Q5-1 貴社の経営者(社長もしくは代表者)の年齢



### Q5-2 後継者(候補者)はいますか(どなたですか)。

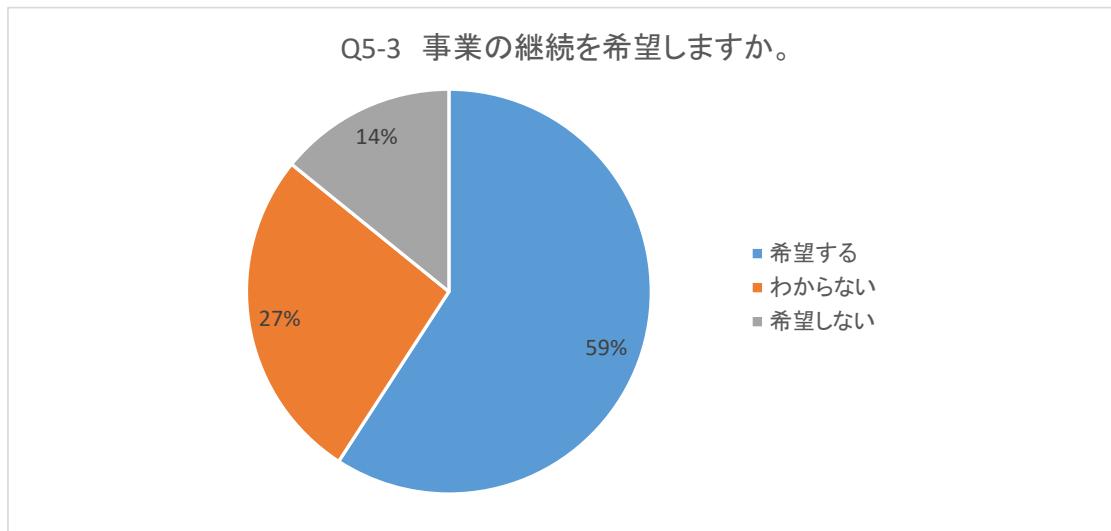
- 「候補者がいる/親族」と回答したのが78社で最も多かった。
- 一方で、「後継者はいない/後継者を探す予定はない(当代限り)」、「後継者はいない/将来的に第三者を探す予定」が二番目、三番目に多かった。
- 当代限りで廃業予定と思われる「後継者はいない/後継者を探す予定はない(当代限り)」の割合は、全体の22%となった。
- 「その他」としては、以下の意見が寄せられた。  
承継したばかり/親会社からの選抜/ など

Q5-2 後継者(候補者)の有無



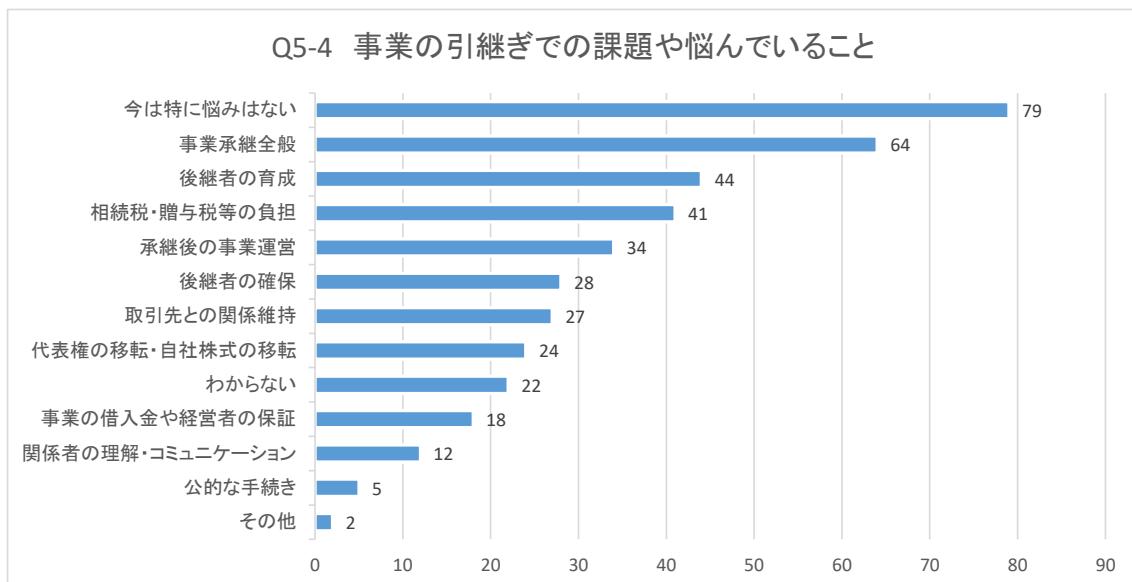
### Q5-3 事業の継続を希望しますか。

- ・全体の約6割が事業の継続を希望している。
- ・次いで多かったのは、「わからない」であった。



### Q5-4 事業の引継ぎで課題と思われること、悩んでいることを選択してください。(複数選択可)

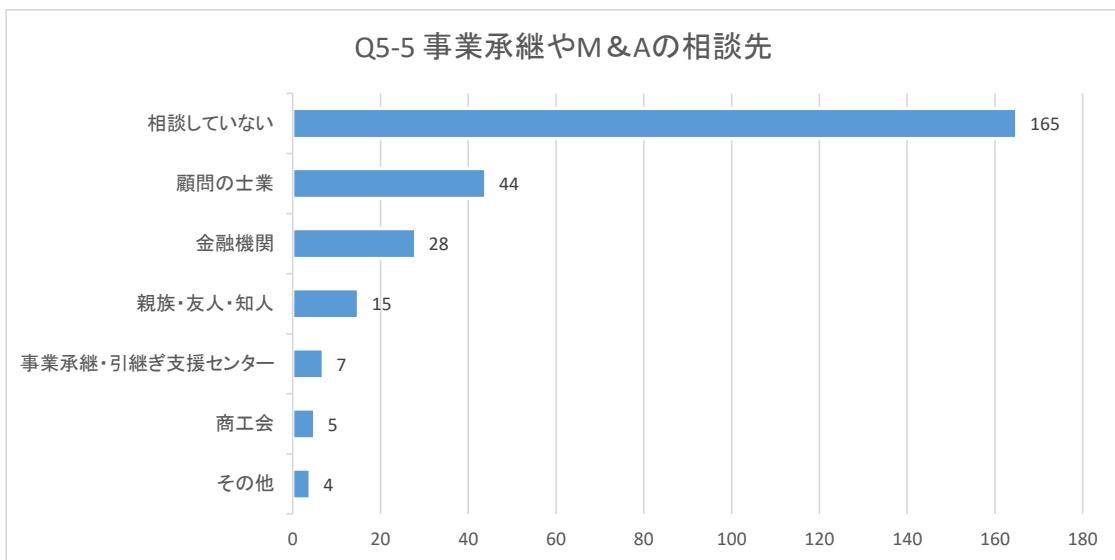
- ・最も多く挙げられたのは「今は特に悩みはない」、次いで多かったのは、「事業承継全般」であり、前回調査と同じ結果であった。
- ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。  
社員の高齢化により、会社存続自体が危ぶまれる/株の集約 など



Q5-5 事業承継やM&Aに関して誰に相談していますか。(複数選択可)

- ・最も多く挙げられたのは「相談していない」であり、全体の約6割を占めている。
- ・次いで多かったのは、「顧問の士業」である。
- ・「その他」としては、以下の意見が寄せられた。  
親会社(既にM&Aされている)/契約会計事務所 など

Q5-5 事業承継やM&Aの相談先



戸田市景気動向に関するアンケート調査結果(2025年11月)  
令和8年1月 日発行

実施・編集・発行：戸田市 環境経済部 経済戦略室  
048-441-1800(内線374)